

いつからだって、管理組合は変わる！

～どうせやるならとことん楽しもう～



日経新聞の「マンション誰のものか」シリーズにも登場した、千葉みなとの築9年、438世帯マンション「ブラウシア」。当初は組織としての方針も、ノウハウも、主体性もなかった管理組合が、自分たちのマンションをよくするため、情熱的、主体的に取り組む組織へ、なぜ、生まれ変わることができたのか。その秘密をたっぷり伺います。



「フレンドリークラブ」の多岐にわたるコミュニティ活動



←日本経済新聞2013.6.23
「マンション誰のものか」
シリーズに2回目の登場。
新規入居者用のウエルカム
ガイドブックを中心とした取
組みが紹介されました。



←読売新聞2014.7.16
「マンション住民 緑の
交流」にて住民参加の
共有部植栽手入れのイ
ベントが紹介されました。

日時：2014年12月4日（木）18:30～21:00

第一部（18:35～19:35）

講演：「ブラウシア管理組合の挑戦」ブラウシア管理組合理事長 八柳 博氏

第二部（19:45～20:50）

パネルトーク：「管理組合が主体的で楽しい組織に生まれ変わるには」

ゲスト：（株）メルすみごち事務所 代表 深山 州氏
ブラウシア管理組合理事長 八柳 博氏

進行：マンションコミュニティ研究会代表 廣田信子

テーマ：・管理組合の役割、コンサルタントの役割、管理会社の役割
・組織の継続性担保のために必要なこと
・マンションの資産価値って何だろう

会場：日比谷コンベンションホール（詳細裏面）参加費：1,000円（当日会場で承ります）

マンションコミュニティ研究会より

マンションコミュニティ研究会は、**マンションに暮らす**ということが、個人のライフスタイルが大切にされながら、新しい「きずな」でむすばれ、いざというときは一人ではないという「安心」を感じられる**ス・テ・キ**な住まい方だと、マンション居住の意味を再確認し、一人一人が、マンションコミュニティを大切に育てていくような社会を作っていくための実践的研究、活動を行っています。**“年に一度のお正月、マンションの隣人にも意識を向けて、「年賀状」を送ってみましょう”**という「切手のいらぬ年賀状」運動は全国に広がりました。

そして、マンション管理も実はコミュニティと切り離すことはできません。社会の大きな変動期を迎えた今、マンション住民自らが、力を合わせて未来を創造していくことの重要性が高まっています。当研究会の毎月の**勉強会**も研鑽と人のつながる場として定着しました。昨年は、管理組合への**講師派遣事業**をスタートし、「**表札等に関するアンケート調査**」を実施しました。「**コミュニティ**」と「**管理**」を**一体化**しながら、各マンションの**未来の創造**をお手伝いしてまいりたいと思っております。

ぜひ一度、ホームページをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

代表 廣田 信子

マンションコミュニティ研究会

事務局 〒279-0013 千葉県浦安市日の出3-4-D-1205

電話 : 043-245-0453

FAX : 043-244-9094

e-mail: info@mckhug.com

URL: <http://www.mckhug.com>



交通アクセス

■東京メトロ 丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」
B2・C3出口より徒歩約5分

■都営地下鉄 三田線「内幸町駅」
A7出口より徒歩約3分

■東京メトロ 千代田線・日比谷線「日比谷駅」
A14出口より徒歩約5分

■JR「新橋駅」日比谷口より 徒歩約10分

お申込み方法：HPまたはFAXから

■マンションコミュニティ研究会ホームページから<http://www.mckhug.com> (申込フォームがあります)

■FAX (03-3264-0226) へ下記内容をお送り下さい。

ふりがな			
お名前		所属団体 企業名	
ご住所	〒		
お電話		FAX	
e-mail		会員 ・非会員	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員
通信欄			